

対面禁止  
6/10 自粛解除  
8月～審査会  
3月 全日本 11,000人  
7月 都道府県 集団感染

令和3年4月10日

令和3年度 千剣連剣道伝達講習会

ガバナンス・コンプライアンス (3年前から)  
～全剣連の取り組み～

暫定的な審判法  
- 試合の審判は  
- 試合内容の向上  
- 正の堂々とした剣道の普及

令和2年9月16日 全剣連は一般財団法人から公益財団法人へ

(背景)・スポーツ団体をめぐる環境の変化からガバナンス(適正な組織運営)の強化が重要になったこと

(公益財団法人として本質的に重要なこと)

- ・社会からの信用力向上
- ・それに伴う責任の増大
- ・責任を果たすためには、ガバナンスの確立、コンプライアンスの徹底

スポーツ・インテグリティ

スポーツ界全体を挙げ、旧弊を取り除き、スポーツインテグリティ(誠実・健全性・高潔性)を高めていかなければなりません。(2018年6月15日スポーツ庁長官メッセージ)

○インテグリティは、ガバナンス、コンプライアンス、モラルを含む広い概念。

○個人の不幸事はどの組織でも起こりうる。しかし、今スポーツ界に問われているのは、組織のガバナンスの欠如・不全ではないか。(鈴木大地スポーツ庁長官)

※ガバナンス・「組織運営の適正性」(スポーツ庁) □組織の権限・責任、相互牽制関係の明確化、情報公開等による説明責任

※コンプライアンス・法令遵守はもちろん定款、規程・規則・ルール、モラル、社会良識等も含む⇒⇒法令に加え、倫理・道徳も □ガバナンスの強化がコンプライアンスの強化に

・倫理規定制定

・倫理委員会発足(倫理委員会規程)

・全剣連倫理に関するガイドラインの制定(平成30年11月)

スポーツ界の様々な課題

暴力、暴言、パワハラ、セクハラ、差別の禁止、ドーピング及び薬物乱用(ドーピングに関する知識を深めること 全剣連HP参照)、指導的立場にある者と選手等の関係(相手の立場の尊重と、立場を自覚した責任ある行動)、審査に関する金銭授受の禁止その他(審査は厳正、公正、適切、誠実に)、不適切な経理処理と不正行為の防止、選手・役員選考、安全・事故防止、一般社会人としての規範

金銭授受  
負のスパイラル  
競技の衰退

・相談・苦情窓口の設置(平成30年11月～令和3年3月)

窓口への通報、報道、Jスポからの通報⇒2年で合計74件(一部重複)うち暴力24件

剣道と暴力は、相容れないもの

根強く残っている

※暴力に対する間違った考え方⇒暴力を正当化、美化する悪しき伝統

※暴力は、身体のみならず、心を傷つけるもの

※剣道の理念「人間形成の道」、剣道修練の心構え「礼節をとらとび」、剣道指導の心構え「相

体罰



手の人格を尊重し（お互いを敬う心と形）」

師弟同行

※暴力の結果、個人には刑事責任（傷害・暴行）、民事責任（不法行為による損害賠償）、剣道界全体に多大な負の影響

・綱紀委員会規則（懲罰規則）の改定

都道府県剣連又は諮問予備審査会による調査 ⇒ 綱紀委員会による調査

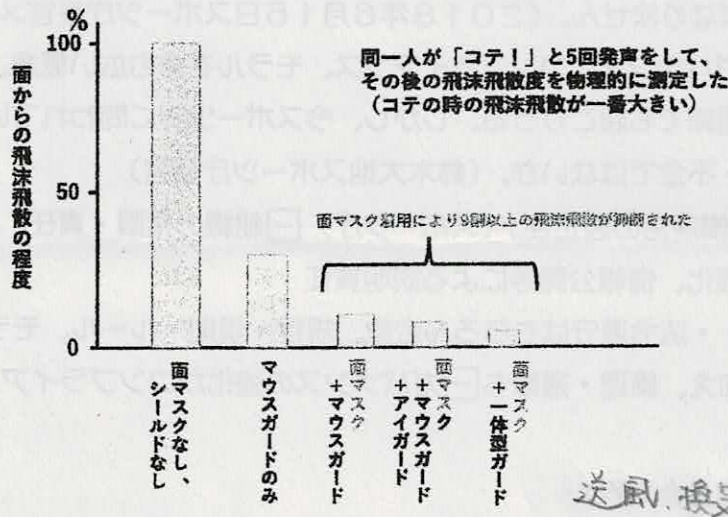
処分内容：称号、段位の剥奪、一定期間の停止等（全剣連のみ）

：会員資格の除名、一定期間の停止（全剣連・都道府県剣連）

暴力・暴言はワルヲ、セウハラ  
自分を見直す

新型コロナウイルスとの対峙の仕方

剣道における飛沫飛散検査：結果の概略



全剣連や千代田県剣道連  
宮坂昌之先生

送風・換気



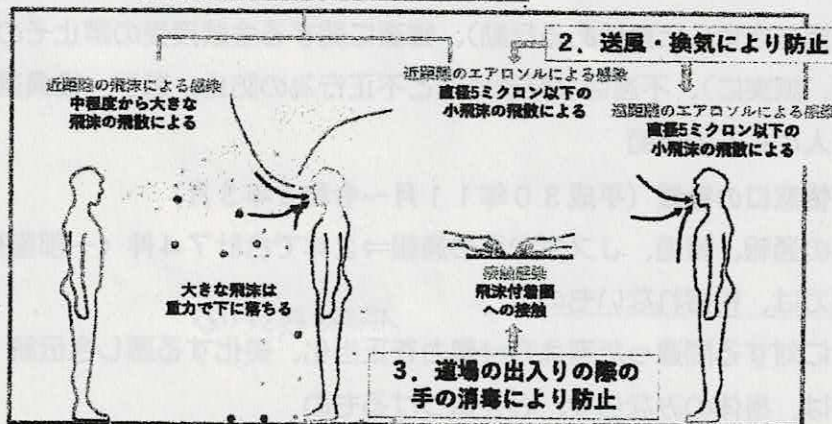
剣道における  
新型コロナウイルス対策

吐息から5分間に3,000個の小飛沫（エアロゾル）が出る。咳一回でも同量。くしゃみ一回で40,000個の飛沫が飛散。剣道はさらに多くの飛沫が飛散することが予想される。飛沫飛散の距離くしゃみ一回で、大きな飛沫（>100ミクロン）が秒速50メートルの速度で6メートル以上飛散する。



三つの方策で防止を図る

1. 面マスクとシールドで飛散防止



- 大きな飛沫（>100ミクロン）は大きな咳やくしゃみによって出るが、重力によって下に落ちる
- 中程度の飛沫のサイズは5~100ミクロン
- 小飛沫は飛沫核あるいはエアロゾルは5ミクロン以下のサイズで、空気感染のもととなる可能性がある



新型コロナとは1～2年は付き合っていかなざるを得ないでしょう

1. 人混みを避けること(対人距離を1.5～2メートル+送風・換気)
2. 手洗い、消毒、マスク着用を励行すること。
3. ワクチン接種を受けること。
4. 生活リズムをなるべく崩さないこと。  
体内時計の維持が、食事、睡眠、免疫力の維持に大事。
5. からだを動かすこと。
6. 正しい知識を得て、筋道を立てて考える習慣をつけること。

慣らばの油断はV配  
稽古の前後など。

正しい知識を得れば、自分自身にアラートを出せるようになる。  
「自分の身は自分で守る」ことが大事。

### 新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法

#### 試合時間・鏢競り合い時間・分かれ宣告回数

表4 各大会の1試合当たりの平均試合時間・鏢競り合い平均時間

	試合時間	鏢競り合い時間
前大会 男子	7分54秒	3分25秒
今大会 男子	6分26秒	24秒
前大会 女子	7分35秒	3分47秒
今大会 女子	5分45秒	37秒

「止の」合議  
主審が反則と思ふ  
疑念の確信に於て

表5 各大会における「分かれ」宣告回数

	分かれ
前大会 男子	1回
今大会 男子	0回
前大会 女子	0回
今大会 女子	0回

試合数63  
合議 反則  
男 4 4  
女 25 13

#### 有効打突に関して

表6 各大会における有効打突の内訳

	しかけ技	引き技	応じ技	反則	合計
前大会 男子	64本	12本	7本	2本	85本
今大会 男子	81本	7本	8本	0本	96本
前大会 女子	49本	19本	10本	1本	79本
今大会 女子	75本	9本	14本	0本	98本

表7 各大会における鏢競り合いからの引き技及び瞬間の引き技

	鏢競り合いからの引き技	瞬間の引き技
前大会 男子	81本	27本
今大会 男子	0本	82本
前大会 女子	251本	74本
今大会 女子	0本	160本